

令和元年度道徳教育パワーアップフォーラム シンポジウム

道徳教育の充実に向けて、 道徳教育推進教師に求められること

～小中9年間を見据えた道徳性育成の視点からの取組～



みらさか学園 三次市立三良坂中学校
教諭 中村 友香

1 はじめに



「三良坂」ってどこにあるの？

校内平面図

1階



開校当初よりの課題

児童生徒間
トラブル

学校規模に対して
多い不登校生徒数
(中学校)

背景

① 自己有用感の低さ

※人の役に立った、人から感謝された、人から認められた、という「自己肯定感」は、自分と他者(集団や社会)との関係を自他共に肯定的に受け入れられることで生まれる、自己に対する肯定的な評価

(参照:文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導リーフ)

② 対話力の弱さ

平成30年度研究主題

自己を見つめ
よりよく生きようとする力を育む道徳教育
～小中をつなぐ主体的・対話的で
深い学びの授業づくりと評価を通して～

【主な取組】

道徳科で求められる
学習の充実

道徳科と体験的な学習
活動等との関連

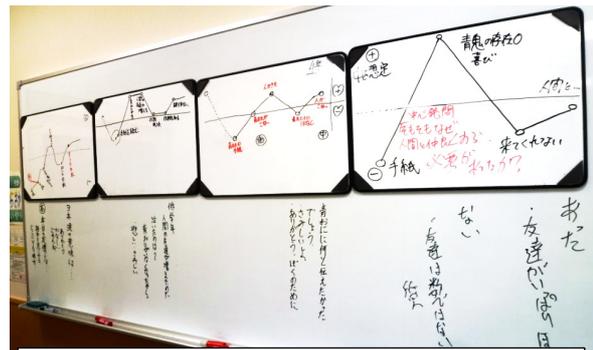
自己と他者・集団とのつながり
自己有用感・対話力の向上

2 道徳教育推進教師を中心とした指導体制づくり

小中教職員の意識の共有化



小中合同理論研修（夏季休業中）



教材分析（低学年～中学校の視点で）



模擬授業



小中合同授業研修（授業参観・研究協議）

研究内容

1 小中をつなぐ！

授業づくりと評価の研究

2 指導と評価をつなぐ！

指導と評価の一体化

3「体験」とつなぐ！

「道徳学習プログラム」の実践

4 地域をつなぐ！

地域と関連した活動と地域教材

キーワード

「つなぐ」

■小中をつなぐ授業づくりと評価の研究

小中9年間の道徳教育の一貫性・連続性の確立

①道徳ノート指導段階表

項目	低学年 (1・2年)	中学年 (3・4年)	高学年 (5・6年)	中学生
書く時間を取るか	○	○	○ ※6年生から段階的に中学校を見越した指導を行う	×
板書を写すか	×	△ 構造的に書かせる指示、指導	△ 構造的に書かせる指導 児童が自由に記述する量を増やしていく	△ 生徒によって異なる (書きたい生徒は書く)
友達の意見	×	○	○	○
①メモを取るか	×	グループワーク時	中心発問以降のグループワーク、意見交流	全意見交流時
②名前を書くか	×	ⓧマークを書き、誰の意見か名前を書く		
評価するところ (必ず書かせる)	中 心 発 問			
	振り返り	未 来 へ の ヒ ン ト		
	 三段階で評価	【協働学習への自己評価】 ・考えをもてた ・理由も話すことができた ・友達の意見も聞きながら、自分の考えを広げ、深めることができた		

■小中をつなぐ授業づくりと評価の研究

指導の方法は多様, 基本の型は統一する

②一時間の授業モデル

道徳的諸価値, 発達の段階を踏まえた児童・生徒理解

【一時間を通して】

一人一人の児童生徒
と**考えを共有**
しながら授業を展開

そのためには...

指導に対する明確
な意図や日々の
学級経営が重要

【中心発問】考えよう・問いを探そう

中心発問は,
開始20分
までに!
自分との関わりや多
面的・多角的に考え
る中で**生まれた問い**
を**みんなで考える**

未来へのヒント

一時間の**学習と**
自己を振り返
りながらこれか
らの生き方につなげ
て考えさせる

■小中をつなぐ授業づくりと評価の研究

③みらさか授業モデル 「問い」を探し, 考える授業

中心発問

①「**か**んがえる」 主体的

中心発問に対する自分の意見を考える場面

②「問いを**さ**がす」 対話的

自分や友達の見解との違いや疑問などを問いとして, 更に考えを深める場面

③「**みら**いへのヒント」深い学び

自分を振り返り, これからの生き方につなげていく場面

■小中をつなぐ授業づくりと評価の研究

④組織的に評価

- ・評価の視点を設定
- ・視点と振り返りをもとにしながら評価の文例を考える研修の実施

児童の振り返り	視点	分類
友達でもお互いに知らない部分も必ずある。友達に強く当たってしまうことがあっても、正しいことは正しいと言って仲を深めて、仲良くなり本当の友達になれると感じました。	価値理解	正しいことを正しく言って仲を深めて仲良くなる。
	自己を見つめる	互いの違いに気づき、強くいつてしまう自分。
	多面的・多角的	知らない部分は必ずある。
	生き方	本当の友達になれる⇒なりたい。

視点	文例
価値理解	正しいと思うことを伝え合いながら、友情を深めていくことができる。
自己を見つめる	自分は友達に強く当たってしまうことがあることに気づけた。
多面的・多角的	友達でも自分が知らない部分があることに気づいた。
生き方	知らない部分を認め合って、本当の友達関係をつくっていきたいと思うことができた。

3 今後に向けて

令和元年度 重点取組

道徳科から全教科へ

令和元年度 研究主題

主体的に学び、課題解決する
児童・生徒の育成
～生徒指導の三機能を生かした
課題発見・解決学習を通して～

令和元年度 小中合同授業研修

道徳科から全教科へ

小学4年生 道徳科



中学3年生 理科



自己決定

共感的人間関係

自己存在感

ご清聴ありがとうございました

